血液・腫瘍内科

1．概要

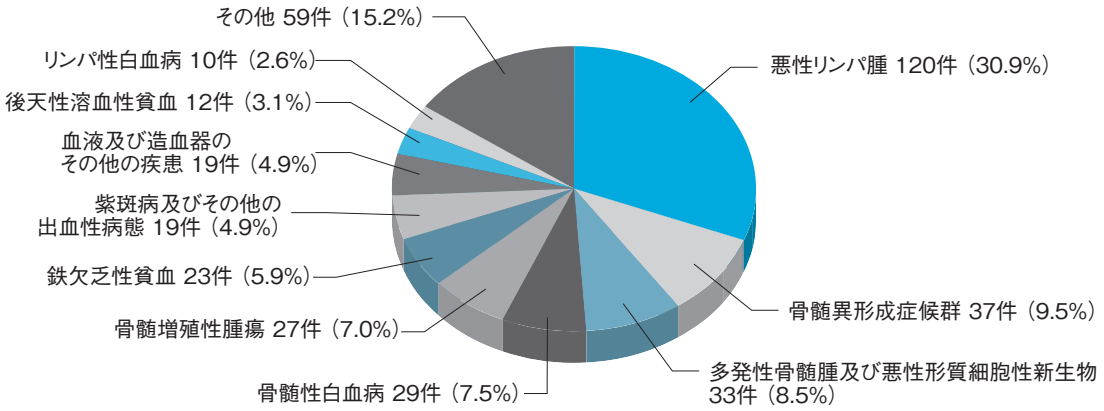
東三河地域の中核施設として、血液悪性疾患に対する化学療法、自家および同種造血幹細胞移植、血液良性疾患に対する免疫療法や補充療法、血栓・止血疾患に対する治療など、血液疾患の治療ほぼ全てに対応している。本年度も東三河全域や静岡県西部などから、多くの患者さんが来院された。2020年度は5から7名のスタッフにて、1日平均約45人の入院と、同様に約75人の外来患者に対する診療を行った。

造血幹細胞移植は、本年度は24例に施行した。そのうち同種造血幹細胞移植は15例で、うち臍帯血移植が7例と最多であった。適切な時期に移植を行うことが重要であり、そのため全てのドナーソースに対応できるよう、体制を整えている。また、比較的高齢であっても適応があり、かつ全身状態が良好であれば同種造血幹細胞移植を検討しており、本年度も60歳代の複数例に施行した。

（部長　倉橋　信悟）

2．新規登録疾患

総数：388件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	59	C833
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	35	D469
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	24	C900
骨髄性白血病	急性骨髄芽球性白血病[AML]	21	C920
骨髄増殖性腫瘍	真性赤血球増加症	8	D45
	骨髄線維症	6	D474
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	23	D509
紫斑病及びその他の出血性病態	特発性血小板減少性紫斑病	19	D693
血液及び造血器のその他の疾患	続発性赤血球増加症	16	D751
後天性溶血性貧血	その他の自己免疫性溶血性貧血	8	D591
リンパ性白血病	急性リンパ芽球性白血病[ALL]	6	C910

3．活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数　18,503人　　年間外来新患者数　509人

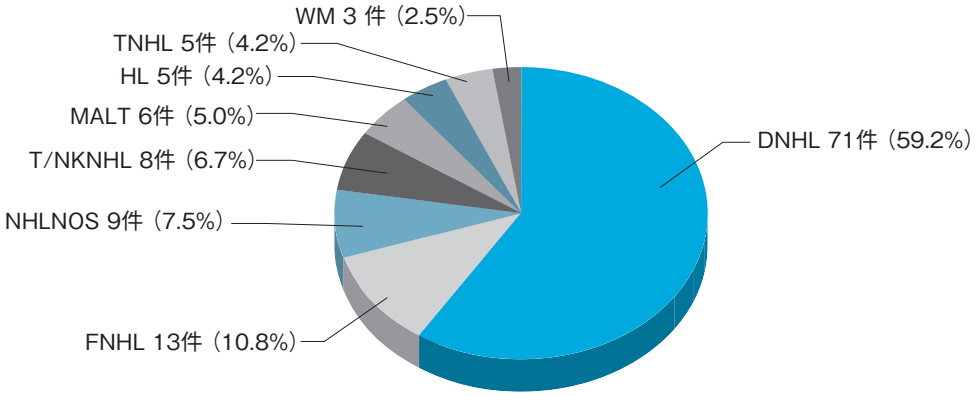
年間入院患者数　16,781人　　年間入院新患者数　815人

(2) 造血幹細胞移植

種　類			件　数(件)
自家移植			9
同種移植	血縁者間	同胞	3(骨髄:2 末梢血:1)
		半合致	0
	非血縁者間	骨髄バンク	5
		臍帯血バンク	7

(3) 悪性リンパ腫の組織分類　(ICD10　C81-C88)

総数：120件



略　語	疾　患　名
DNHL	びまん性非ホジキンリンパ腫
FNHL	ろ胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫
NHLNOS	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
T/NKNHL	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型
MALT	MALTリンパ腫
HL	ホジキン病
TNHL	末梢性及び皮膚Ｔ細胞リンパ腫
WM	ワルデンシュトレームマクログロブリン血症

学会発表（医局）

（血液・腫瘍内科）

1	早川　輝.EBウイルス初感染を契機に急激な経過を辿った血球貪食性リンパ組織球症の1例.第240回日本内科学会東海地方会.名古屋市.2020/2/16
2	大野　裕文.トシリズマブが有効であったTAFRO症候群の1例.第240回日本内科学会東海地方会.名古屋市.2020/2/16
3	鈴木祐太朗.当院における中枢神経原発悪性リンパ腫（PCNSL）19例の解析.第82回日本血液学会学術集会.Web.2020/10/09-2020/10/11
4	黒川　貴司.JAK2変異陰性多血症患者における睡眠時無呼吸症候群精査の有用性.第82回日本血液学会学術集会.Web.2020/10/09-2020/10/11

研究会発表（医局）

（血液・腫瘍内科）

1	倉橋　信悟.新規3剤緩解導入療法を用いた初発多発性骨髄腫に対する自己末梢血幹細胞移植の成績.第25回東海骨髄腫フォーラム.名古屋市.2020/1/25
2	井本　直人.ITPの治療中にトキソプラズマ肺炎の急速な増悪を認めた一例.第42回三河血液疾患診療ネットワーク.安城市.2020/2/7

座長・司会（医局）

（血液･腫瘍内科）

1	杉浦　勇.抗体薬併用の作用機序から考える投与のタイミング.第25回東海骨髄腫フォーラム.2020/1/25

論文・著書（医局）

（血液･腫瘍内科）

1	Isamu Sugiura.Ultra-high sensitivity HBsAg assay can diagnose HBV reactivation following rituximab-based therapy in patients with lymphoma..J Hepatol. 2020; 73: 285-293.
2	Isamu Sugiura.A survey of blood transfusion errors in Aichi Prefecture in Japan: Identifying major lapses threatening the safety of transfusion recipients..Transfus Apher Sci. 2020; 59: 102735.
3	Isamu Sugiura.Prospective evaluation of prognostic impact of KIT mutations on acute myeloid leukemia with RUNX1-RUNX1T1 and CBFB-MYH11..Blood Adv. 2020; 4: 66-75.
4	Isamu Sugiura.Final results of a phase I study of carfilzomib, lenalidomide, and dexamethasone for heavily pretreated multiple myeloma..Int. J. Hematol. 2020; 111: 57-64.
5	Daisuke Koyama.Multi-Lineage BCR-ABL Expression in Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic LeuKemia Is Associated With Improved Prognosis but No Specific Molecular Features..Front Oncol. 2020: 586567.
6	杉浦　勇.Ⅱ　急性リンパ性白血病　B.治療　3　Ph+ALLの治療.急性白血病診療テキスト　エキスパートに学ぶ 220-231.
7	Isamu Sugiura.Once-weekly vs. twice-weekly carfilzomib dosing in a subgroup of Japanese relapsed and refractory multiple myeloma patients from a randomized phase 3 trial（A.R.R.O.W.）and comparison with ENDEAVOR..Int. J. Hematol. 2020; 1-12.
8	Isamu Sugiura.Combination of clofarabine, etoposide, and cyclophosphamide in adult relapsed/refractory acute lymphoblastic leukemia: a phase 1/2 dose-escalation study by the Japan Adult Leukemia Study Group..Int. J. Hematol. 2020.
9	Shingo Kurahashi.Prospective evaluation of alternative donor from unrelated donor and cord blood in adult acute leukemia and myelodysplastic syndrome..Bone Marrow Transplant. 2020; 55: 1399-1409.
10	小山　大輔.濾胞性リンパ腫を背景に発症したループスアンチコアグラント低プロトロンビン血症症候群.臨血. 2020; 61: 745-749.